事業番号	246

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	市民会館施設管理事業							担当部	教育委員会事務局	
会計区分	一般会計			事業類型	一般事業			担当課	生涯学習課	
事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降				担当係	社会教育係	
総合計画 新基本計画 施策等	4 文化・スポーツ		15 文化振興			1 市民が文化芸術に親しめる機会を充実します				
	重点事業		実施計画事業							
予算区分	款	10	項	5	目	3	大	2	中	1
根拠法令・個別計画	小牧市生涯学習推進計画、地方自治法第244条の2、小牧市市民会館の設置及び管理に関する条例、小牧市市民会館の管理に関する規則									
目的 何・誰を対象に	市民会館・市公民館及びその利用者									
目的 どの様な状態にするのか	市民の生涯学習活動を振興するため、施設の安全管理、会場の貸し出し、舞台の機器操作等を行うことにより、市民の会場利用の支援を行う。									
内容（手段）目的達成のためにどのような事業を実施したか	■27年度実施内容 指定管理者（施設活用協会）へ管理運営を委託 ・会場利用（申請・許可）に関する事務 ・ホール利用に関する機器操作 ・施設全体の設備等管理 補修工事、保守点検 ■27年度直接経費の内訳 修繕料等(12,042,000円) 保険料(87,310円) ESCO事業委託料（2,683,497円） 市民会館管理運営委託料 (147,118,523円) 駐車場用地借上料(10,824,960円) 市民会館用備品購入費(1,670,400円) 【27年度その他財源の内訳】 市民会館使用料（3,338,520円） 市公民館使用料（5,768,763円） 市民会館資料複写代金(252,160円) ■28年度実施内容 27年度と同様に実施する。 修繕料(5,400千円) ESCO事業委託料(2,684千円) 市民会館管理運営委託料 (158,410千円) 駐車場用地借上料(10,825千円) 市民会館用備品購入費（3,250千円） ほか印刷製本費等(406千円)									
受益者負担	有 市民会館使用料 3,338,520円 ，市公民館使用料 5,768,763円									

事業の概要

コスト

			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
費用	直接経費		千円	152,323	153,949	174,427	180,975
費用	正職員	従事者数	人	0.11	0.11	0.11	0.11
費用	正職員	人件費	千円	605	605	605	605
費用	その他職員	従事者数	人	0.01	0.01	0.01	0.01
費用	その他職員	人件費	千円	10	10	10	10
費用	費用合計		千円	152,938	154,564	175,042	181,590
費用	対前年比		%		101.0	113.2	103.7
財源	一般財源		千円	141,049	140,489	165,682	172,283
財源	国・県支出金		千円	0	0	0	0
財源	その他財源		千円	11,889	14,075	9,360	9,307

事業番号	246

業績

活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
市民会館開館日数	日	目標	—	—	—	—
		実績	311	309	309	
公民館開館日数	日	目標	—	—	—	—
		実績	316	316	317	
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
市民会館・公民館利用件数	件	目標	—	—	—	—
		実績	9,310	8,609	8,929	
市民会館・公民館利用人数	人	目標	—	—	—	—
		実績	404,516	395,093	407,164	

事業の自己評価

平成27年度の実施結果	事業の達成状況	広く市民に利用されている市民会館及び市公民館の施設管理を行い、市民が安全に快適に利用できるようにすることができた。利用者数も昨年より増加した。大きなイベントでの利用が多い。
	事業実施における課題	施設の老朽化が進んでおり、計画的な対策が必要である。
	事業を縮小・廃止したときの影響	市民会館及び市公民館の安全性、利便性が低下する。
平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	施設の老朽化に伴い、必要最小限の改修について検討する。誰もが安心・安全に利用できるように、防犯カメラ設置及び市民会館ロビー照明のLDE化を検討していく。
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持　／　事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	市民が安全に快適に市民会館及び公民館を利用するためには、市民会館施設管理事業は重要で、事業の継続が必要である。
	29年度以降の改善案	施設を安全に利用してもらうために、安全管理を行うとともに、老朽化への計画的な対応を検討する必要がある。 また、大きなイベント以外にも、ロビーコンサートなどサークル活動として積極的に利用してもらうように呼びかける。また、若い世代の利用が少ないため、こまなびネットフェイスブック等を活用し、講座やサークル活動などの情報を積極的に発信していく。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。 引き続き指定管理者のモニタリングに努め、利用者アンケート結果を活かすなど利用者の満足度が高まる施設運営に努めること。